

多高通信

第183号 令和2年12月25日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

2学年 修学旅行

函館に行ってきました！

11月30日からの2泊3日、2学年の修学旅行が行われました。この修学旅行では「新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底！」を学年全体で掲げ、マスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保などの完全実施を旅行のルールに決めました。



函館といえば… 五稜郭と函館山の夜景！

1日目はトラピスチヌ修道院、五稜郭、函館山夜景観賞が主な行程となりました。函館山からの夜景は息をのむほど美しく、生徒は寒さを忘れてその光景に見入っていました。また、災害科学科の生徒の中には、東日本大震災のときに起きた津波が襲来した場所を熱心に確認する生徒もいました。



2日目はグループ別研修修が中心となりました。生徒は朝市や赤レンガ倉庫、ベイエリア等へ出向き、函館の食、特産品、または文化歴史に思いを馳せていた様子でした。

最終日は大沼公園への訪問です。駒ヶ岳の雄大な姿を見ながら生徒は最後の記念撮影、遊歩道散策、レンタルサイクリングを行うなどそれぞれの思い出をつくることができた様子でした。

あつという間の3日間でしたが、学校を離れた場所、生徒は普段見せることのない喜びの表情を見せていました。この経験がクラスでの円滑なコミュニ

ケーション、進路選択のヒントになることを期待しています。

この修学旅行実施にあたり、保護者の皆様方には多くのご理解とご協力を頂きました。修学旅行実施が危ぶまれたときもありましたが、皆様のご協力により修学旅行を無事終えることができました。本当にありがとうございました。

■修学旅行実行委員長

2年5組 鈴木海成

(向洋中出身)

今年の修学旅行は新型コロナウイルスの影響により、京都・大阪方面から北海道の函館に変更になりました。また、日程も本来の計画から1日少ない2泊3日となりました。

函館では、函館山からの夜景を楽しんだり、五稜郭、函館朝市、赤レンガ倉庫などを観光したりしました。そこでは、私たちが事前に調べていたこと以上の驚きや新しい発見がたくさんありました。もちろん、学年やクラスの絆が深まり、本当に多くの思い出を作ることができました。また、今回は一人一人が感染症対策をしっかりとっていたので、学校に戻ってからも感染者が一人もいなかったことが何よりうれしかったです。

これから先の行事も新型コロナウイルスの影響で変わってしまうものがあると思いますが、今回の経験を生かして、自分たちで臨機応変に対応して、受験や卒業に向かって学年全員で助け合って学校生活を過ごしたいと思っています。



八幡坂



トラピスチヌ修道院

1学年 薬物乱用防止教室

12月3日7校時、1学年

を対象に薬物乱用防止教室が行われ、東北厚生局麻薬取締部 指定物専門官の宮村昌幸氏を講師に迎え、講話を頂きました。



生徒たちは真剣に耳を傾けていました。薬物に関するニュースが多く取り沙汰される昨今、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

◎違法薬物を使うと幻覚を見たり、幻聴が聞こえたりするのは知っていましたが、それによって殺人などが起きているのは初めて知りました。身近な人がもし違法薬物に手を出しそうなになったら、止められるようにしようと思いました。

シチズンシップ教育

選挙制度に関する講座

12月17日、シチズンシップ教育の一環として、2年生を対象に「選挙制度に関する講座」を開催しました。今回は、多賀城市選挙管理委員会から高木豊様に来校していただき、選挙の現状や選挙運動等について、具体的に大変わかりやすく説明していただきました。平成28年度から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、来年には選挙権を持つことになる現2年生にとって、政治や選挙に対する意識も一層高まりました。

生徒の感想

選挙には、今まで「仕組みがよく分からなかったので大変そう」というイメージを持っていましたが、今回の講座で選挙の流れはあまり難しくないことが分かりました。私たちの代が選挙へ行かないと、若い世代の人々の意見が反映されないということなので、自分たちのためにも選挙に行くことが大切だと思いました。また、選挙で立候補者を選ぶときには、様々な意見を取り入れ、自分の意思をしっかりと決められるように、情報を取り入れなければならぬと感じました。



選挙制度を改めて詳しく学びましたが、自分の一票が当選・落選を左右することの重大さがよく理解できたので、18歳になったら積極的に投票に行こうと思っています。(2年女子)

軽音楽部

全国リモート大会入賞

& 1年生大会グランプリ

12月13日、名古屋を拠点として中部・北陸地区を中心に行われている高校軽音楽コンテスト「全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル」の2020年度冬大会が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により演奏動画を撮影するリモート

形式で、応募資格を全国に拡大し開催されました。全国から140バンド以上がエントリーした中、本校2年生バンド「トロイカ」が奨励賞を受賞しました。

■部長・ドラム担当

2年4組 大崎 紬生(玉川中出身)

全国から140余りのバンドがエントリーしての大会で奨励賞を頂くことができたことは、来年度の総文祭への大きな足掛かりと自信になりました。全国大会に出場している先輩方を目標に、素敵な曲をたくさん作り、多くの皆さんを惹きつける演奏ができるよう活動していきたいと思っています。

12月20日、専門学校デジタルアーツ仙台において第6回宮城県高等学校対抗バンド合戦1年生大会が行われ、軽音楽部での部内選考を経て出場した1年生バンド「Twilight(トワイライト)」が、Only United Sazabys「swim」のコピーを披露しました。コロナウイルスの影響により無観客での実施となりましたが、高い演奏力と本校伝統の熱いライブパフォーマンスを見せ、1年生大会では本校初となるグランプリを受賞しました。

夏の県大会は中止となってしまいましたが、11月に行われた新人戦ではグランプリを受賞しており、今年度開催された公式大会の連覇となりました。

■ドラム担当 1年2組 半澤 颯(幸町中出身)

今回の大会は無観客での開催となり、異例の環境下でも緊張しましたが、練習してきたことを存分に発揮できたと思います。一口に練習と言っても、個人のパートの演奏はもちろん、部室での合わせ練習、見ている人を楽しんでもらえるようなパフォーマンスなど、細部にも気を配りました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、私たち1年生の入部が2ヶ月ほど遅れてしまったものにも関わらず、このような誇らしい結果を得られたのは、顧問の先生を始め、軽音部の先輩、同期の仲間、保護者の皆様、そして、応援して下さいました。誠にありがとうございます。私たち多賀城高校軽音部はこれからも互いに切磋琢磨し合ひながら、日々精進し続けていきます。引き続き応援よろしくをお願いします！

